山田高 延長で涙

甲子園開幕戦 力投柳田 報われず

第86回全国高校野球選手権大会が7日、阪神甲子園球場で開幕した。初日は午前9時から開会式が行われ、本県代表山田高ナインも元気いっぱいの入場行進を披露した。

その山田高は開幕戦で天理（奈良）と対戦した。山田高は序盤優位にゲームを進めたが、中盤に追いつかれ、延長12回裏、2死から連打でサヨナラ負けを喫した。山田高は初回、鮮やかな先制攻撃を繰り広げた。白取、加守田の連打で1死一、三塁から2点を先取。さらに4回には谷川の二塁打から田守が右前に適時打を放ち3―0とした。好投を続けていた左腕柳田だが6回裏に、天理打線につかまった。この回、真井の二塁打など4長短打を浴びて1点差に迫られ、1死一、三塁で痛恨の暴投で同点に追いつかれた。

山田高はエース柳田の力投を堅い守りで支えた。9回裏、無死満塁で一打サヨナラの場面では、三塁・鴨田の好守で併殺で切り抜けるなど、再三のピンチを好守でしのいだ。

1回表山田高1死、白取が左翼線に二塁打を放つ。投手山下

▽1回戦

山田高	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
天　理	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4

（山）柳田―加守田（天）山下、柴田―西田翔
▽二塁打＝白取2、谷川（山）真井、田中、岸田（天）

東奥日報

〒030-0180
青森市第二問屋町３丁目１番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2004

インターネット号外

購読のご案内・お問い合わせは
東奥日報社販売局
0120-46-59339（ヨム コウドクサンキュー）
24時間受付

CENTRAL SPORTS
好評！プールメンバー募集中
セントラルフィットネスクラブ青森
青森市新町1の2 サンフレンドビル 017-722-2234

(C)2004 THE TO-O NIPPO　http://www.toonippo.co.jp/